

## ぬくもり

写真提供:青洲高校写真部

## 「顔見知りさん」

公益社団法人山梨県看護協会峡南地区支部長 河西 美千代



平素より、当協会峡南地区支部の活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

顧みますと、今年度も会員の皆様お一人おひとりが、それぞれの持ち場で看護の専門性を発揮され、地域医療・福祉の向上に尽力してこられました。そのご活躍に心より

敬意を表します。

支部運営におきましても、前年度の「顔見知りさん」を引き継ぎ、研修会や住民公開講座、看護実践報告会等、様々な活動を通じて多くの皆様との出会いがあり、皆様の温かいご支援、ご協力を賜り、一年間の活動を無事終えることができました。役員、委員の皆様には、多忙な業務の合間を縫って、献身的にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。皆様との協働こそが、支部の力となり、活動を支える確固たる基盤となっております。

さて、社会情勢は絶えず変化しており、看護職に求められる役割も多様化、複雑化しています。次年度におきましても、顔見知りさんを増やし、地域に根差した活動をさらに充実させ、会員の皆様が安心して働き続けられるよう、そして、質の高い看護を提供できるよう、共に学び、支え合う環境づくりに努めてまいりたいと存じます。

皆様のさらなるご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、次年度も変わらぬご指導、ご協力をお願い申し上げ、巻頭のご挨拶とさせていただきます。

## 山梨県看護協会峡南地区支部機関紙 「ぬくもり」発刊に寄せて



公益社団法人山梨県看護協会

会長 遠藤 みどり

峡南地区支部の皆さまには、日頃より地域の健康と生活を支える看護活動にご尽力いただいていることに心より感謝申し上げます。また看護協会の活動推進へのご理解とご協力にも重ねて御礼申し上げます。

峡南地区におきましては、少子高齢化や人口減少に伴い、看護職の人材不足と定着が大きな課題となっております。その中で地区支部の看護職の皆さまが、一人ひとりの患者・利用者に真摯に向き合い、地域包括ケアの要として力を尽くしてくださっていることに、心から感謝申し上げます。

日本看護協会が策定した「看護の将来ビジョン2040」では、すべての人が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる社会の実現を目指し、看護職がその中心的役割を果たすことが示されています。

少子高齢化や医療の高度化、地域包括ケアの進展など社会が大きく変化する中で、看護職は人の暮らしに寄り添う専門職としての力をさらに発揮していくことが求められています。

その実現のためには、看護協会と各地区支部がしっかりと連携して、互いに支え合いながら活動を展開していくことが不可欠です。地域課題やニーズを的確に捉え、現場からの声を県全体の活動へとつなげていく、その双方向の連携こそが、地域に根ざした看護の質を高め、県全体の看護の力を高めていく原動力になると確信しています。

峡南地区支部の皆さまが、地域住民に寄り添いながら「ぬくもり」のある看護を実践されていることは、人と人とのつながりを大切にする看護の原点だと思っております。看護協会と地区支部、そして地域が心を一つにし、峡南の地に看護の灯を絶やさぬよう、ともに歩いていきましょう。

看護協会の活動に対する皆さまの声は、地区支部長の河西美千代様、地区理事の小林緑様を通し、ぜひお届けください。看護協会は行政や医療機関等と緊密に連携を図りながら、皆さまから出された諸課題を共有し、解決に向けて鋭意取り組んでいきたいと思っております。

皆さまのご健康と、峡南地区支部のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

## 看護功労者受賞者



元身延町早川町組合立飯富病院所属 梶原 辰美

この度は、看護功労者表彰を賜り誠にありがとうございました。また、受賞に際しご苦勞頂きました関係者の皆様には心より御礼申し上げます。この賞を頂くことができたのは、諸先輩方のご指導といつもそばで支えてくれる同僚、家族の協力があつたからこそと感謝しております。

22歳で飯富病院に就職し、38年間病棟、外来、老健とさまざまな経験をすることができました。地域に密着した看護を通して、高齢者の暮らしを支えられるよう悩むことも多々ありましたが、患者やその家族の笑顔に励まされ、ここまで頑張ることができました。

現在は赤坂台病院でパート看護師として勤務しています。これからも患者とその家族の支えとなれるよう、もうひと頑張りしたいと思います。



峡南医療センター企業団富士川病院 廣田 直美

この度は看護功労賞知事表彰の受賞の栄誉を受け、心より感謝申し上げます。

私が富士川病院に就業し1年が経った頃、中国から新興感染症が流行し、私達と新型コロナウイルス感染症との闘いといっても過言ではない日々が始まりました。大型客船の乗客が発症したニュース報道があつた後、瞬く間に峡南地域でも感染者が確認されました。多くの医療職者が未曾有のウイルスによる自身の健康、生命への影響、家族への負担に対する不安を抱いていました。その中で、峡南地域の患者様、地域住民の医療を守るという強い使命感、看護者としての責任感を持ち、ケアを行ったCOVID NSの仲間達を始めとし、多くの諸先輩、同僚に深く敬意を表します。

この名誉にあずかりましたのも、皆さまの多大なるご支援とご指導の賜物と存じます。これまで以上に感染症看護の道を精進していく所存でございます。引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

# 新人看護師紹介

(3名)



身延町早川町組合立飯富病院 佐野 亜里彩

飯富病院に入職し半年が過ぎました。憧れの上司の姿に刺激を受けながら、日々奮闘しています。小さい頃から看護師である母の姿を見て尊敬を抱き、また、祖父が自宅で倒れた際に何も出来なかった自分に悔しさを感じ看護師を目指すようになりました。地域がら高齢者が多いため、患者様一人ひとりの背景を捉え、気持ちに寄り添い、個別性のある看護ができることを目標にしています。

まだまだ未熟ですが、先輩方のご指導を頂きながら、患者様の小さな変化にも気づけるよう観察力を養い、患者様や家族から「あなたで良かった」と思ってもらえる看護師になります。



峡南医療センター企業団富士川病院 秋山 友香

私が看護師を目指したのは、医療の最前線で働く方々の姿をニュースで見たコロナ禍での出来事がきっかけです。人を支える仕事に就きたいという思いから介護職と迷っていましたが、患者様を支える医療従事者の献身的な姿に心を打たれ、命を支える看護職に強い魅力を感じ、この道を選びました。現在は看護師として、先輩方のご指導のもと日々多くの事を学んでいます。落ち込む事もありますが、患者様が元気になっていく姿や患者様からの感謝の言葉が大きなやりがいです。

今後は、常に学びの姿勢を忘れず、知識と技術の向上に努めます。そして、患者様一人ひとりの心に寄り添い、信頼される看護師を目指して頑張ります。



峡南医療センター企業団富士川病院 遠藤 千代美

私は現在、富士川病院の整形外科病棟で働いています。前職を退職したとき、「もっと人と関わる仕事がしたい」と思ったことがきっかけで看護の道を選びました。毎日、患者さんやご家族との関わりの中で学ぶことが多く、一人ひとりに合った寄り添い方を大切にしたいと感じています。

まだまだ学ぶことばかりですが、先輩方の姿を手本にしなが、看護師としても人としても成長していきたいです。これからも笑顔を大切に、患者さんやご家族に安心してもらえる看護を目指して頑張っていきたいです。



あなたも一緒に活動しませんか？  
山梨県看護協会峡南地区支部の活動は、この会報誌の最後で紹介しています！

あなたも会員になりませんか？

入会資格 保健師・助産師・看護師・准看護師  
いずれかの免許を持ち、山梨県内に勤務もしくはお住まいの方

年会費 18,500円  
山梨県看護協会費+日本看護協会費+地区支部会費+看護教育研修センター維持管理費  
※山梨県看護協会、日本看護協会同時入会となります。

会員期間 4月～翌年3月  
※入会方法、詳細については、電話での問い合わせまたはホームページをご覧ください。

特典いっぱい

- 看護協会主催の各種研修は会員価格で受講
- 地域の特性にあった地区支部主催の研修は無料
- 日本看護学会学術集会・山梨看護学会は会員価格で参加
- 看護職賠償責任保険制度への加入資格
- 機関紙(協会ニュース)等により、看護に関する情報をいち早く入手
- 看護教育研修センターの図書室や研修室、会議室の利用(規定により一部有料)  
※文献検索、文献の取り寄せには別途が相談に応じます。
- 会員専用WEBサイト「キャリアナース」の利用
- 各種優待サービス  
ホテルでの食事・宿泊割引、温泉施設利用割引、鍼灸マッサージ割引など

ほかにも特典がいろいろ！

入会をお待ちしています

※詳細はホームページをご覧ください。

活躍する仲間からのメッセージ

看護はひとつ

保健師 県内で働く保健師の多くが看護協会に加入しています。市町村や県、病院、施設、学校等で働く仲間が集まる研修や地区活動では顔が見える関係づくりの和が広がります。また、看護協会発信の情報には、保健師を取り巻く社会情勢やスキルを高めるためのお宝が満載です。

助産師 少人数の助産師だからこそ、看護協会に集まって、楽しみながら実践力を高められています。妊娠・出産だけでなく、女性の生涯を通じた健康づくりに関わって、子育てに関する相談やイベントなどを通じて県民の健康な生活の実現にも貢献しています。

看護師 准看護師 社会ニーズに対応するため、看護師の活躍する場はますます広がり、役割を発揮することが期待されています。チーム医療の調整役を担う看護師は、看護実践能力を高める必要があります。看護協会に集う仲間と学びあい、情報交換をしながら、一緒に活動しませんか。

## 施設・事業所の紹介

### 「新体制で再出発」

峡南医療センター企業団市川三郷診療所 看護師長 櫻井 順子

峡南地区北部に位置する当施設は、2025年10月から「市川三郷診療所」の名称で8科の一般外来・血液浄化療法科で構成され、無床診療所として再スタートしました。

看護部は常勤・非常勤合わせて17名となり、病院時代から比較するととても少なくなりましたが、平均年齢〇〇の経験豊かなスタッフが在籍しています。施設自体も建立から50年余り経過し、某アミューズメントパークのアトラクションに似ていると巷では噂されているようですが、過去には映画などの撮影に使用されたこともあるのです。

高齢化が進む地域で住民の皆様が安心して在宅で過ごすことができるよう、日々奮闘しています。



### 「いつでも、そばに」

社会福祉法人清珠会特別養護老人ホーム清珠荘 看護主任 飯塚 裕樹

私たちは、峡南地域の皆さまが安心して暮らせるよう、医療ニーズの高い方にも対応できる体制を整えています。地域の医療機関と連携しながら、緊急時も迅速に対応できる24時間看護体制を維持し、入居・短期入所・通所サービスを通じて、ご自宅での生活と施設での生活の両面から、高齢者とご家族を総合的に支援しています。

施設では、利用者様お一人おひとりが安心して日々を過ごせるよう、レクリエーションや季節の行事を大切にしながら、それぞれのペースに合わせた生活をサポートしています。

峡南地区が抱える医療課題に対して、私たちは24時間看護体制と地域医療機関との密な連携により、在宅・施設の両面から医療と介護が一体となったケアを提供し、この地域で安心して暮らし続けられる環境づくりに貢献してまいります。



### 「デイサービスセンターはやかわの看護活動」

社会福祉法人富士厚生会デイサービスセンターはやかわ 看護師 上田 美穂

当センターは、早川町唯一の通所介護事業所です。看護職は健康観察と必要な手当て、健康維持のための体操等を行っています。一人看護師なので責任重大です。バイタル測定の数値やスタッフから寄せられる様々な情報から、入浴法や食事内容、皮膚トラブルの処置等の看護判断を求められます。幸い、一緒に働くスタッフは経験豊富ですし、いよいよ困った時には、隣接する特養に的確な助言をくださるベテランナースの存在があります。おかげ様で、プレッシャーに負けず、ほど良い緊張感で働き甲斐を感じています。

利用者さんの健康な暮らしを支えるためには、事業所内にとどまらず、家族や事業所外の多職種との連携が必須です。協力し合って、早川町の皆さんが少しでも長く、楽しく暮らせるようにお手伝いしたいと思っています。



## 「誰もが安心して暮らせる町をめざして」

富士川町役場 丸山香澄

富士川町役場は10名の保健師の他、管理栄養士や社会福祉士、看護師等の専門職が、福祉保健課（健康増進担当・障害福祉担当・包括支援センター）、子育て支援課に配置されています。

分散配置される中、月に1度は職場内研修を実施し、お互いにモチベーションを高め合い、住民一人一人の生活から地域全体を支援するという広い視点を持って保健師活動に取り組んでいます。

これからも、住民の方々が地域とのつながりを大切にしながら、その人らしく安心した生活が送れるよう、支援を続けていきたいと思ひます。



## 「地域とともにほぐくむ健康づくり」

南部町役場 佐野千代子

南部町は「一流の田舎町」を目指しており、住む人訪れる人にとっても、魅力的な地域づくりを進めています。私たち保健師8人（プラチナ保健師含）は、福祉保健課健康増進係と地域包括支援センターに分かれ所属しています。職場では保健師の役割や取り組みについて理解が得られ、連携やコミュニケーションがとりやすく、地域の医療機関や事業所とも「顔が見える関係」を築きながら活動を行っています。

赤ちゃんから高齢者まで幅広い世代の方とかわることが多く、温かい交流もあります。自然と人の温かさを感じながら和気あいあいと「みんなの健康はまず自分の健康から」と活動しています。



## 「住民の暮らしを見守り、支える」

早川町役場 佐野裕理

皆さんが持つ早川町のイメージは？『生活には不便な場所』『人より獣が多そう』うーん、間違っははいません。他には？『知る人ぞ知る温泉がある』『人と人との繋がりが濃い』うん、うん。それも間違っははいません。

私たち保健師は、ここで暮らす人々の保健・福祉のために"何でも屋の精神"で働いています。役場職員や関係機関には"住民のために"と無理を聞いてもらうこともあり、私が行くと「嫌な予感がする」との冗談も。でも、「そんなこと言わずにお願いします（ニコッ）」と立ち向かいます。いえいえ、むしろ「こんなに協力してくれて感謝！」と思うことばかりです。

「これが保健師活動の醍醐味なんだろう」と噛みしめながら、これからも、頼もしい仲間と共に住民の暮らしを支えていきたいと思ひます。



# 今年度の活動の様子

## トピックス研修 「そのとき あなたなら どうしますか」

講師 NPO法人災害・防災ボランティア未来会 山下博史代表  
令和7年10月10日(金) 参加者49人



## 看護協会 まちの保健室 ～甲州富士川まつりにて～

体組成測定・骨密度測定  
令和7年11月9日(日) 参加者76人



## 住民公開講座「緊急消防援助隊の活動から伝えたい災害への備え」

講師 峡南広域行政組合 峡南消防本部  
令和7年11月1日(土) 身延町中富総合会館 参加者32人 令和7年11月16日(日) 市川三郷町生涯学習センター 参加者49人



青洲高校写真部のみなさん、ありがとうございました！



### 編集スタッフ

- |      |         |       |
|------|---------|-------|
| 委員長  | 飯富病院    | 宮崎真理子 |
| 副委員長 | 身延山病院   | 保坂 一美 |
| 委員   | しもべ病院   | 赤池 陽子 |
|      | 峡南病院    | 藤原 玲奈 |
|      | 富士川病院   | 深澤 恵子 |
|      | 市川三郷診療所 | 櫻井 順子 |
|      | 早川町役場   | 佐野 裕理 |

### 編集後記

今回のぬくもり第14号では、会員以外の施設にもご協力頂き活動の様子を紹介しました。また、表紙の写真は青洲高校写真部の生徒さんの作品で、「ぬくもり」をテーマに提供して下さいました。

地域医療を取り巻く環境が大きく変化していく中、巻頭での支部長の言葉にもある「顔見知りさん」と「ぬくもり」ある看護を届けている峡南地区に…との思いを込めて。発刊にあたり、ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。